

★ちよつと待って下さい、その国際貢献

―自衛隊のアフガン医療援助は歓迎されるか―

★燃料供給から医療援助へ

◆昨年八月、政権交代と同時に与党はアフガニスタンにおける軍事行動部隊への自衛隊による燃料供給を停止しました。

◆しかし政府与党は燃料供給に代わる国際貢献として、今度は自衛隊によるアフガンへの医療援助を検討しています。

★若葉マークの自衛隊がなぜ医療援助？

◆アフガンへの医療援助は、軍事行動に対する直接援助よりずっと平和的な援助で、それ自体問題はないと私たちは考えています。

◆しかし、ここでなぜ自衛隊なのでしょう？医療に関しては若葉マークの自衛隊をあえて派遣する必然性はあるのでしょうか？

★現地は自衛隊が入ってくるのは歓迎か

◆アフガンの人たちは、日本の自衛隊を軍隊と見ています。自衛隊が入ってくるという事は、たとえ医療援助でも軍隊が入ってくると見ているのです。

◆日本のNGO「ペンシャワール会」の中村哲医師は「自衛隊の派遣は有害無益、百害あって一利なし」と言い切っています。自衛隊の派遣は日本のNGO援助も自衛隊と同じように見られ活動の妨げになると言っています。

★国際貢献は「平和憲法」で

◆結局、いま国際貢献は民間組織が平和憲法で行うの最も歓迎されると私たちは考えます。自衛隊が武器を持たない平和復興部隊となったとき、アフガンの人たちは双手を挙げて歓迎するでしょう。

◆国際貢献は平和憲法で・・・これが私たちの一貫した主張です。

二〇一〇年十一月十四日(日) 第五二五回憲法を守る平和行進
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

講演会のお知らせ (主催 9条の会・浜松地区連絡会)
演題・講師「戦争・人間・憲法九条そして日本経済」 品川正治(経済同友会終身幹事)
日時 十二月四日(土)午後2時より
場所 浜松Uホール (遠鉄バス・浜松城公園入り口から徒歩10分)